

婚期 (1961)

メディア 映画

ジャンル コメディ ファミリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 98分

初公開日 1961/01/14

公開情報 大映

【解説】

水木洋子のオリジナル脚本を吉村公三郎が監督し映画化。撮影は宮川一夫が担当した。主演の女優たちが、見事なコメディエンヌぶりを発揮。

波子と鳩子は、兄の卓夫が父から事業を継いだ実家に暮らしていた。二人は兄嫁の静を快く思っていなかったの、いたずらの手紙を出すことにした。内容は卓夫が愛人とその子供を隠れて世話しているというもの。あやしげな電話もかけるのだが、まったく相手にされない。波子は静の紹介でお見合いをするが、相手がすっかり禿げ上がった中年の歯科医師だったため激怒。鳩子と家を出ると言い出す。また静も、卓夫をガス中毒で殺そうとしたと疑われ、家を出ることにするのだった。

【クレジット】

監督 吉村公三郎

製作 永田雅一 [製作]

企画 久保寺生郎

脚本 水木洋子

撮影 宮川一夫

美術 間野重雄

音楽 池野成

出演 若尾文子

野添ひとみ

京マチ子

船越英二

弓恵子

三木裕子

六本木真

片山明彦

高峰三枝子

藤間紫

倉田マユミ

清川玉枝

北林谷栄

市田ひろみ

早川雄三

杉田康

中条静夫

酒井三郎
田中三津子
平井岐代子
夏木章